

「第16回 新興感染症感染拡大防止に向けた
地域プラットフォーム形成シンポジウム」
3/16 Mon. 15:00～16:00 Webinar
開催のお知らせ

JARECでは、COVID-19および新興感染症の感染拡大防止に向けてご活動されている皆さまを対象に、感染症の収束と新たな社会のあり方に向けたシンポジウムを開催しています。今般、下記要領にてシンポジウムを開催致します。奮ってご参加頂きたくお願い致します。

右のQRコードまたは弊協会ホームページよりお申込み願います。

<https://forms.gle/hJwRDDYbNuFgRm4u5>



申込用
QRコード

第16回 3/16 Mon. 15:00～16:00 Webinar

「最も人命を奪っている結核菌の特徴と現在とこれからの結核対策について」



新潟大学
大学院医歯学総合研究科 細菌学分野
教授 松本 壮吉 氏

(プロフィール)

長崎大学にて医学博士(1998年)および歯学博士(1999年)を取得。1992年に長崎大学歯学部口腔細菌学講座助手として研究者としてのキャリアを開始し、1999年には米国National Institutes of Health (NIH)にてvisiting fellowを務めた。2002年に大阪市立大学大学院医学研究科感染防御学講師、2006年同研究科細菌学准教授を経て、2013年より新潟大学大学院医歯学総合研究科細菌学教授。2023年から日米医学協力計画抗酸菌症専門部会長を務める。アイルランガ大学、北海道大学、大阪公立大学の客員教授を兼任し、現在に至る。

概要：結核は人類史上最多の死者を出し、2024年でも死亡数はCOVID-19やAIDSを上回る。長く制圧できない理由は、結核菌が目立たず潜伏し、世界人口の約4分の1に静かに感染する「しぶとさ」にある。菌は増殖を止めて休眠(ドーマンシー)することで薬が効きにくく、生存力も高い。この休眠はDNAを凝集させ生命活動を止める仕組みによる可能性があり、解明と阻止は結核制圧を早める鍵となる。また、この仕組みは人の長寿理解にも通じる可能性がある。

第11回 2024/12/9 Mon. 15:00～16:30 AP東京丸の内

「感染症制圧に向けたグローバルな取組みとパンデミックに向けた明日への備え」-パートナーシップの意義と創薬開発の展望

第12回 2024/12/16 Mon. 15:00～16:00 Webinar

「ヒト免疫応答の乱れ」と感染症の重症化と後遺症発症への関与

第13回 2024/12/23 Mon. 14:00～16:45 Webinar

「大学附属病院における新型コロナウイルスの感染症対応+パンデミックのゆくえに関する一考察」「平時対応から災害対応への転換-地域の医療体制をまもるために何を優先すべきか?」

第14回 2025/2/17 Mon. 14:00～15:50 Webinar

「下水疫学調査による感染リスクの予測と経済評価」「高感度イムノクロマトキット開発に関する取り組み」

第15回 2025/9/8 Mon. 14:00～15:50 Webinar

「COVID-19ワクチン・治療薬の開発を経てパンデミックを迎え撃つ国際目標の提唱へ」

これまでのワークショップ開催状況

第1回 2021年3月19日〔金〕 13:30-18:00

(基調講演1)

「新型コロナウイルスとワクチンのメカニズムー
コロナ対応の行動規範を考える」

第一三共株式会社ワクチン研究所 所長 武下文彦氏

(基調講演2)

「Withコロナ社会の見取り図ー

ウイルスとの共生の視点から」

国立大学法人長崎大学熱帯医学研究所

教授 山本 太郎 氏

(事例紹介1)

(地独) 青森県産業技術センター工業総合研究所

葛西 裕 氏

(事例紹介2)

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本

部室 牧野 義之 氏

第2回 2021年9月24日 (金) 14:20~17:00

新型コロナウイルス感染症最前線の動きと感染防止に向けた新たなPCR検査体制

(事例紹介1) 「札幌市におけるコロナをめぐる連携体制
の構築について」

札幌市保健所 疫学担当部長 中西 香織 氏

(事例紹介2) 「大学と行政が共同で取り組む新型コロナ
ウイルス感染症に対する全自動PCR検査体制の整備と疫
学研究」

京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部

准教授 松村 康史 氏

(事例紹介3) 「下水疫学による新型コロナウイルス感染
者の検知と個別施設での適用」

株式会社島津テクノリサーチ

環境事業部 副事業部長兼分析研究センター長

八十島 誠 氏

第3回 2021年11月19日 (金) 14:30~17:00

福岡バイオバレープロジェクトによる新型コロナウイルス感染防
止の取組

(事例紹介1) 「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた福岡
バイオバレープロジェクト事業の紹介」

福岡県商工部新産業振興課水素・バイオ班 企画主幹

藤田 敏明 氏

(事例紹介2) 「ボナックによる新型コロナウイルス感染症治療
薬の研究開発に向けた取組紹介」

株式会社ボナック R&D本部 久留米RDサイトヘッド

濱崎 智洋 氏

(事例紹介3) 「KAICOによる新型コロナウイルス感染拡大防止
に向けた取組紹介」

KAICO株式会社 代表取締役社長 大和 建太 氏

第4回 2021年12月17日 (金) 14:30~17:00

地域による新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取組

(事例紹介1) 「山梨県によるやまなしグリーン・ゾーン
認証制度の紹介」

山梨県 県民生活部 グリーン・ゾーン推進課 課長

鈴木 孝二 氏

(事例紹介2) スーパーコンピュータ「富岳」による
ウイルス飛沫・エアロゾル感染リスクの評価と対策提案
～飲食店での感染対策を例に～

国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター
チームリーダー 坪倉 誠 氏

(事例紹介3) コロナ感染症対策と社会経済活動の両立

東京大学大学院 経済学研究科 准教授

仲田 泰祐 氏

第5回 2022年3月17日 (木) 14:30~17:00

新型コロナの感染予防・治療に向けた地域プラットフォームの構築
に向けて

(事例紹介1) 「京都発Disease X 感染症対策ワーキング
グループの取組」

京都府 政策企画部 企画参事 吉岡 信吾 氏

(事例紹介2) 「シトラスリボンプロジェクト～23か月の軌
跡～」

松山大学 法学部 准教授 甲斐 朋香 氏

愛媛大学 社会連携推進機構 教授 前田 眞氏

(事例紹介3) 「新型コロナウイルスはなぜ変異するのか？
風邪のコロナウイルスになるのか？」

東京農工大学 農学部附属感染症未来疫学研究

センター センター長/教授 水谷 哲也 氏

第6回 2022年9月30日 (金) 14:30~16:30

新型コロナウイルスにおける最新の研究開発動向と感染防止対策

(事例紹介1) 「新型コロナウイルス感染症対策に関連
するAMEDの研究開発支援の状況について」

国立研究開発法人 日本医療研究開発機 (AMED)

創薬事業部創薬企画・評価課

課長代理 池上 貴啓 氏

(事例紹介2) 「新型コロナウイルス感染症対応からみ
た今後の健康危機管理」

浜松医科大学 医学部 医学科 健康社会医学講座

教授 尾島 俊之 氏

第7回 2022年12月9日 (金) 14:30~16:40

新型コロナウイルス感染防止に向けた地域の対策・指針の紹介

(事例紹介1) 「下水情報の活用による新型コロナウイル
ス感染拡大防止に向けた取り組み」

東北大学 大学院工学研究科 土木工学専攻

教授 佐野 大輔 氏

(事例紹介2) 「新型コロナウイルス感染対策における県
内専門家有志による取り組み-岡山県の一例」

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科

疫学・衛生学分野 教授 頼藤 貴志 氏

第8回 2023年2月24日 (金) 14:30~15:00

新型コロナウイルス感染症の行方

(基調講演) 「コロナ禍の行方について」

国立研究開発法人科学技術振興機構 顧問 濱口 道成 氏

第9回 2023年7月3日 (金) 14:25~17:00

新たな感染症のメカニズムと感染者の実態把握に向けた取組

(基調講演1)

「高齢者における新型コロナウイルス感染症重症化傾向と
その問題点(コロナ禍を振り返って)」

島根大学医学部Acute Care Surgery講座・高度外傷

センター長 教授 渡部 広明 氏

(基調講演2)

「新型コロナの現状と今後の対策」

東京医科大学病院 渡航者医療センター

特任教授 濱田 篤郎 氏

第10回 2023年10月23日 (月) 14:25~17:15

ウィズコロナ社会の感染対策と行動規範

(基調講演1)

「下水疫学調査によるコロナ感染動向の把握に向けた取組」

北海道大学 大学院工学研究院 環境工学部門

准教授 北島 正章 氏

(基調講演2)

「RNAウイルスの変異と新興感染症：世界感染拡大のメカ
ニズムと備え」

厚生労働省 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究

センター 主任研究官 佐藤 裕徳 氏

主催・運営・お問合せ先

公益財団法人全日本科学技術協会

コロナ・新興感染症シンポジウム事務局 鈴木・大門

Tel 03-3831-5911 E-mail infection@jarec.or.jp